

おかちまち
たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第4号

令和6年7月12日（金）

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



7月



<https://www.taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320111>

↑更新中

小さな積み重ね、一人一人がよりよい社会をつくる

校長 福沢 俊之

6月21日（金）まで、三名の教育実習生が本校で実習を行っていました。それぞれ授業の準備に苦勞をしながら、二週間、または三週間、一生懸命頑張っていました。生徒のみなさんの協力もあって、三名とも「先生になりたい。」という目標をあらためて確認できたと思います。三名の教育実習生は、7月7日（日）の東京都の教員採用試験に臨みました。来年度から、本校での実習をステップに、どこかの学校の教壇に立っていることを願うばかりです。

社会科の教育実習生が、3年1組で研究授業を行ったのが、20日でした。そのとき、参観・指導に来られた大学の先生は、私は以前から存じ上げている先生です。その方と29日にお会いする機会がありました。そのとき、あらためて教育実習への丁寧なお礼をいただくとともに、研究授業の日のことを再びお話になりました。それは、授業が始まる前に教室に入ったときのこと、1組の生徒のみなさんが自然な笑顔で「こんにちは」とあいさつをして迎えてくれた、ということでした。この時期、教育実習でお世話になっているいろいろな学校を訪問するそうです。中には、人気のある私立中学校を訪ねることもありましたが、1組の教室に入ったときのあの温かな雰囲気はどの学校でも味わうことがなかった、初めて会ったのに快く迎えてくれた、1時間、とても居心地がよかった、とおっしゃっていました。研究授業の当日も校長室で同じようなお話を伺いましたが、一週間以上過ぎて再びお会いしたときも、当日のこのように話される様子を拝見し、心からそう思ったださっていたのだと感じました。

「あいさつは、いつでもどこでも何度でも」とは、私が本校の校長に着任する前から、それまでの生徒たちも先生方も、みなで受け継いできた校風です。それが一人の訪問者を心からの幸せな気持ちにした。まさに人とのかけわりを大切にできる学校の一つの形です。

学校教育に求められることの1つは、生徒一人一人を、社会の中で自分の役割を担い果たしながら自分らしく生きていくことができるような人に育てることであると考えています。その「役割」とは「職業」だけではなく、家族の中で、友人との間で、そこにいるだけで役割を担っているともいえるでしょう。一度のあいさつで人を幸せな気持ちにすることができたとすれば、それは素晴らしい役割を果たしたといえると思います。教育目標にもあるように、社会に貢献できる人を育てる、それは例えば、あいさつができる人であるといってもよいでしょう。御徒町台東中で学んで、いつでもどこでも、自然にあいさつができる人を社会に送り出すことができたなら、学校としての役割を一つ、果たしたことになると思っています。

1 学期表彰生徒

ソフトテニス部

○台東区中学校春季シード権大会

男子個人戦 優勝（3年1組 、3年3組 ）

○第78回台東区中学校体育大会

男子団体戦 準優勝

男子個人戦 第3位（3年1組 、3年2組 ）

女子団体戦 優勝

女子個人戦 第3位（3年2組 、3年3組 ）

バレーボール部

○第78回台東区中学校体育大会 男子 優勝

○第78回台東区中学校体育大会 女子 第3位

第72回 台東区柔道大会

1年3組

中学1年男子の部 第2位

令和6年度 歯と口の健康に関する標語コンクール

歯科医師会賞	3年3組	「歯磨きは 誰でもできる 自己防衛」
歯科医師会賞	2年1組	「毎日の 小さな努力 歯は光る」
佳作	3年3組	「歯をみがこう 未来の笑顔 守るため」
佳作	2年1組	「歯 の 健 康 は 体 の 健 康」
佳作	2年2組	「ちょっと待って磨かないの？泣いてるよ」
佳作	2年3組	「歯ミガキシナイト コマルヨ未来」
佳作	2年3組	「君の歯が 笑うと光る キラキラと」
佳作	1年1組	「自分の歯 一生つかう 宝物」
佳作	1年2組	「まあいいや その一言が 命とり」
佳作	1年4組	「歯っ歯っ歯っ 歯で印象は かわるんだ」

令和6年度 歯の優良生徒

優良者	3年1組 3年2組
準優良者	3年1組
	3年2組
	3年3組